

えこたくぷろ



5月だより 第2号 R6.5.28

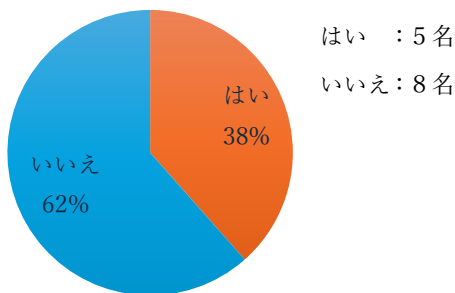


タクティールケア体験後、職員アンケート結果より 職員 13名

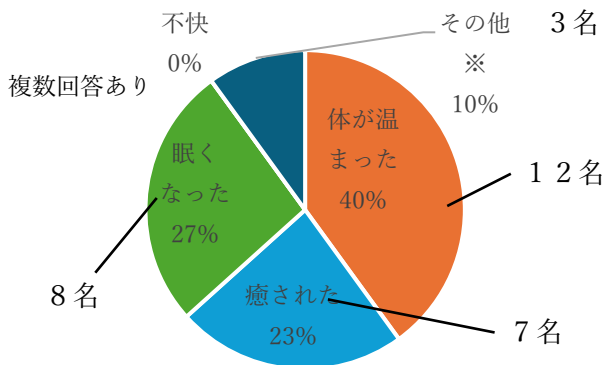
看護師：柴原・柴田

介護福祉士：伊藤・三輪・ジン・池田・堀・相原・鈴木和・小林・鈴木夏・石田・鈴木あ

1、タクティールケアという言葉を知ったことがありますか



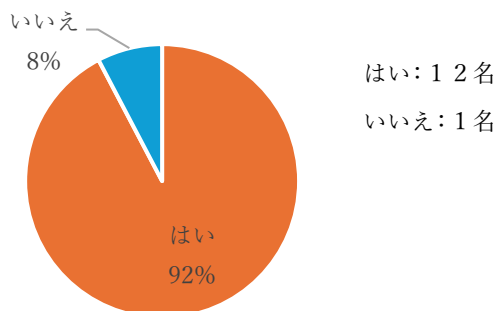
2、タクティールケアを体験されてどうでしたか



※その他

- ・体が楽になった気がする
- ・リラックスできた
- ・ストレスがなくなり穏やかな気持ちになった

3、タクティールケアに興味をもたれましたか



4、その他御意見がありましたら御記入下さい(原文のまま)

・「タクティール」と云う名称はごく最近耳にしましたが、常々「手当て」として利用者の方に接してきました。私自身もほんの少し手を当てただけで、気持ちが良いとこち良いと感じてきたのでタクティールを体験させて頂き間違いではなかったと実証された気分です。

・左手をやってもらいましたが、とても手が軽くなりました。今度、全身やってもらいたいです。

・ゆびがかかるなくなった

・昔「お手当て」といって手を使って触れる考え方と教わって納得した。

・ふれることによって体が温まったりゆったりした気持ちになれた。

・もっと圧力かけるものなのかと思っていました。本当に肌に触れるだけなのにとてもあたたかく体温以上の温度に感じました。触れることとオキシトシンに関係について体感することが出来た気がします。

・「自分一人ではないんだ」という気持ちになり、心がおだやかになりました。初めての経験でオキシトシンの効果を実体験させて頂きうれしかったです。

・静かな環境の所でやっていただけたらもっと癒されたのではないかと感じました。

・体験したらとても気持ちよくていやされました。

・多動ぎみの子供によい気がしました。

・かるくなった感じがしました。

タクティールケア体験 利用者 10名

本2：K・N様 S・S様 K・S様 S・Y様 本3：Y・N様

新2：M・H様 M・H様 O・Y様 新3：A・N様 S・T様

本3 Y・N様には入眠前のタクティールケア施術を行い、朝まで熟睡されたという効果がありました。

お知らせ

4/30～5/1 タクティールケア I の講習会を行いました。

講習生はエコトープから10名、外部から5名参加がありました。

初日はタクティールケア座学、背中の手技、午後は手👏の手技練習を行いました。皆さん2人ペアになり必死に手技を覚えようとしていましたが、手技の順番や手の動かし方に悪戦苦闘していました。

2日目は足👏の手技、3つの手技の応用編、テキストに要点を書き込んだり、あっという間の2日間でした。

受講後、スタンダードコース（手、足、背中）は3人のレポートがあります。実技試験は7月31日

8月1日フォローアップ研修を受けて適宜実技試験となります。5月～7月まで受講者は手技を習得する為に一生懸命頑張りますので応援宜しくお願い致します。



5月2日 島田市立看護専門学校にて講演会に参加させて頂きました。

講演内容は「ようやく well-being の時代へ」講師：グスタフ・ストランドル先生

「タクティールケアの実演」講師：奥田典子先生

well-being は身体的・精神的・社会的に良好な状態である事を意味する。日本では健康・幸福・福祉の3つに直訳される。入居した時は「俺はもう死んでもいいんだ」→身体的側面（リハビリで日常生活により歩けるようになる）→精神的側面（充実した排泄ケア、食事を楽しむ）→社会的側面（家族と喜んで会う）→実存的側面（孫の花嫁を見るまで長生きする）手段としてタクティールケアを行い、施術することにより入居者の気持ちに変化がありました。

タクティールケア実演では、学生達が全員で背中・手の練習を体験しました。「背中が温かい、すごい、なんで」と驚く顔や笑顔がありました。これからの実習には「手当て」タクティールケアが導入されると思います。

★☆☆タクティールケア受講後の感想（原文のまま）☆☆★

・2日間あっという間で本当に楽しく学ぶ事ができました。手技はとても難しいですが沢山練習して試験に合格したいと思える研修でした。10年以上介護をやっていますが、新しく学びたいと思える物に出会えた事に感謝です。